

平成 2 1 年度病害虫発生予察注意報第 2 号

平成 2 1 年 1 0 月 7 日
愛 知 県

作物名：ダイズ

病害虫名：吸実性カメムシ類（特にミナミアオカメムシ）

1 発生地域 西三河・東三河地域

2 発生程度 多い

3 注意報発令の根拠

(1) 9 月下旬の巡回調査の結果、ダイズにおけるミナミアオカメムシやアオクサカメムシなどの吸実性カメムシ類の 1 0 0 株あたりの寄生虫数は 13.7 頭（平年、0.7 頭）となり、過去 1 0 年で最も多くなった。

(2) 昨年新たに発生を確認したミナミアオカメムシが、県内 1 6 市町のほ場で確認されており、生息域が拡大している。

(3) 1 0 月 2 日発表の 1 か月予報では、気温が高い確率が 4 0 % と予想されており、今後の発生に好適な条件が続くと思われる。

4 防除上注意すべき事項

(1) 水稻収穫後、隣接したダイズほ場への吸実性カメムシ類の飛来が懸念されるので、ほ場をこまめに見回り、ほ場内で吸実性カメムシ類を確認したら、下表を参考に登録薬剤による防除を実施し、その後も発生が多い場合は 7 ~ 1 0 日後に再度防除を実施する。

(2) 幼莢期から子実肥大期において加害が激しいので、この時期に防除の重点をおく。

(3) 吸実性カメムシ類は移動性が高いので、広域一斉防除の効果が高い。

(4) ミナミアオカメムシの防除に際しては、ネオニコチノイド系や有機リン系などの薬剤を用いて防除する。

(5) 農薬の散布に当たっては、他の農作物や人畜に害を及ぼさないよう飛散防止に努める。

(6) 農薬はラベルの表示事項を守り使用する。

表 ダイズにおけるカメムシ類に登録のある主な薬剤

薬剤名	希釈倍数	収穫前日数	使用回数	系統
スミチオン乳剤	1,000倍	2 1 日前まで	4 回以内	有機リン
スタークル顆粒水溶剤 / アルバリン顆粒水溶剤	2,000倍	7 日前まで	2 回以内	ネオニコチノイド
ダントツ水溶剤	2,000 ~ 4,000倍	7 日前まで	3 回以内	ネオニコチノイド

5 その他

(1) ミナミアオカメムシは 3 2 科 1 4 5 種の植物に寄生・加害することが知られており、愛知県では、水稻、コムギ、トマト、オクラ、キャベツ等で寄生を確認している。

(2) ミナミアオカメムシの生態などについては、8 月 1 7 日発表の「知ってとくとく ミナミアオカメムシの生態と防除」を参照すること。

ホームページアドレス：<http://www.pref.aichi.jp/byogaichu/>

6 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除グループ

電話：0 5 6 1 - 6 2 - 0 0 8 5（内線 4 7 1）